

## 狭山の元気 発見

# 躍進

いきいき狭山人  
ひと

環境講座で省エネライフを考える  
きっかけを...温暖化対策分科会



多くの皆さんに市内の緑に  
触れてもらう場を提供...緑の分科会



リサイクルマーケットのパネル展  
示で広く啓発...ごみ減量分科会



子ども達がふるさとの川を身近に感じられるよう...川分科会

# 環境にやさしいまちづくり 大きく・深いネットワークを広げたい 狭山らしい自然が残る景観を守るために

平成15年12月6日。  
この日、狭山に、地球に  
やさしい環境づくりを  
目指す市民組織が立ち  
上がりました。「さやま環境市

民ネットワーク」：市民、事業  
者、市民団体が一体となって行  
動する組織として、地域に根  
ざし設立から3年を迎えます。

現在、さやま環境市民ネット  
ワークに加盟するのは207  
会員。個人や団体、企業など、  
さまざまな立場の皆さんです。  
ひと一言で「環境のために」とい  
つても、その範囲は大変広く、  
多岐に渡ります。このネット  
ワークでは、緑の分科会、川分  
科会、ごみ減量分科会、温暖化  
対策分科会の4つの分科会が、  
啓発活動を中心にそれぞれの  
目的に合った事業を展開し、  
そして、その横断的な情報交  
換などの場として、月に1回、  
運営委員会を開催しています。  
ネットワークが設立される  
前、市内には、環境のために活  
動するたくさんの団体や個人  
そして企業がありました。内容  
は違っても、目指すものは同  
じ：市内に残る自然を守るた  
めに行動する団体、市内を流れ  
る川に強い思いを持ち、きれい

な川づくりに尽力す  
る団体、あらゆる環境  
のためにごみを減ら  
し、リサイクルを進め  
る団体、地球温暖化  
を身近な問題として  
捉え、その防止のため  
に活動する団体：それらの思  
いをついに、より効果的に機  
能させるための組織として、さ  
やま環境市民ネットワークは  
誕生しました。私たちは皆さ  
んに、環境を考えるきっかけを  
提供したいと思っています。イ  
ベントの一つ「環境ウォーク」  
は市内の自然を肌で感じられ  
る事業です。それがきっかけで  
環境を守る輪が広がれば嬉し  
いですね」と、会長の石田嵩さ  
ん、私たちの思いは一つ、「狭  
山をきれいなまちにしたい」と  
いうことです」と、続けます。

さらに、道路整備などと同  
様きれいな景観のまちづくり  
を目指すことはネットワーク  
の存在意義の一つ。一人でも多  
くの方が身の周りや狭山の環



会議での議論は真剣

境に興味を持ち、そして「環  
境市民」となっていくこと  
から行動してくれること。そ  
れがネットワークの願いです。  
そして、さやま環境市民ネッ  
トワークは、次のステップとし  
て、NPO法人になるための準  
備を進めています。市民、事業  
者、市民団体、そして行政との  
協働による「環境にやさしいま  
ちづくり」に向けて、さらに自  
立した活動・自主的な活動を  
展開するための第一歩です。  
狭山の環境を考えるための  
リーダー的存在として、また  
環境を取り巻くさまざまな立  
場の皆さんをつなぐパイプ役  
として、これからも飛躍してい  
くさやま環境市民ネットワー  
クに、ぜひご注目ください。

市民参加型の組織を目指して3年  
さやま環境市民ネットワーク

# オピニオン

## 広報さやまの「子育てカレンダー」で「初めの一步」を踏み出しました



横尾美幸さん  
(狭山在住)

私は、子どもが生後1か月のとき、里帰りしていた故郷の大阪から戻りました。とはいっても、狭山に住んで日が浅いため友だちはいないし、子どもが小さいので外出もできません。外との接点がなくて孤独を感じていました。

そんな私にとって広報さやまは、市の情報が得られる大切な手段。その中でも「子育てカレンダー」のページには、子どもと参加できる事業などが載っていて、惹かれるものもあったのですが、参加しても知らない人ばかりかと思うと、迷うだけでなかなか行動ができませんでした。それでも、勇気を出して乳幼児情報センターの事業に参加してみると、スタッフが声をかけてくれて、ホッとしたのを覚えています。それがきっかけで施設を利用するようになり、子育て中の友だちも増えていきました。「初めの一步」を踏み出すにはとても勇気が必要でしたが、今はたくさんの仲間と楽しく子育てをしています。

広報さやまの「教育・子育て・キッズ」このページに、子育てワンポイントアドバイスなどのコーナーができれば、もっと便利になるのではないのでしょうか。多くのママたちが、楽しく子育てできる...そんな狭山市になって欲しいと思います。

### 市の考え方

貴重なご意見をいただき、大変ありがとうございます。

広報さやまの「子育てカレンダー」は、子育て情報がひと目で分かるよう、掲載しています。ほかにも、ご意見にあるようなコーナーなどを設けたいところですが、紙面には限りがあるため、今後も事業の開催に関するお知らせを中心に編集していきたいと考えますので、どうぞご理解ください。

なお、乳幼児情報センターの公式ホームページ「ちゃっばねっと」やモバイルサイトでは、子育てQ&Aなどの情報を常に発信していますので、ぜひご覧ください。また、センターでは、保育士スタッフがいつでも皆さんをお待ちしていますので、気軽にお出かけください。市では、一人でも多くの方の「初めの一步」を応援していきたいと考えています。

担当 広報課・乳幼児情報センター



私の好きな景色...

## 秩父連山と街並み

私は、狭山稲荷山公園へのバス通りから見える秩父連山と市内の景色が好きです。晴れた日は遠くの山々がとてもきれいで、笹井から柏原方面まで見渡せ、市内を一望することができます。狭山に住んで39年。移りゆく街並みをずっと目にしてきました。以前よりは住宅が増えたと感じますが、今でも多く残る自然はいいもの



石川信子さん  
(入間川在住)



夜景もとてもきれいです

ですね。普段は車の方も、時には歩いて、この景色を眺めてみてはいかがでしょうか。

今回は、趣味の友人で、柏原地区にお住まいの方をご紹介します。

## Hello ハロー 仲間たち

Vol.306



多くの人に見てもらい本物の植物のように心を和ませたい...

## 植物画愛好会

繊細な線と色で表現する植物画をご覧になったことがあるでしょうか。私たちは、富士見公民館の事業がきっかけで発足したサークル「植物画愛好会」です。現在、14名で月2回の火曜日に活動しています。

植物画は、植物を正確に、緻密に描く絵画です。そのため、まず大切なのは、観察すること。時にはルーペを使い、花粉や葉脈までも詳細にスケッチし、色付けも微妙な変化を表現しながら、植物の色に忠実に作品を仕上げていきます。写真では見えない部分までを描き、そこに植物の持つ美しさを重ねる点が、植物画の大きな魅力といっている方もおられます。

日ごろは、会員それぞれのペースで和気あいあいと活動しています。また、描くだけでなく、植物の勉強も欠かせません。植物を正確に描くには、その特徴や生態を知ることが重要です。一見、難しそうに思えますが、初心者でも気軽に始められる植物画、興味のある方は、ぜひ、一緒にしませんか。

問合せ 関根徳子さんへ  
29571001